

専門は障害者福祉論。障害児教育の歴史研究、障害児教育制度研究、成人期障害者の実践研究を経て、現在は障害者自立支援法を中心とした制度論研究、成人期障害者の居住支援の制度・実践論を研究している。おもな対象は成人期の知的障害がある人。

#### 1. 専門演習の目標

障害児者の諸問題について、各論でとりあげ、そこですでにされている議論に対して、自分なりの見解を展開できるように。

現在は、障害者自立支援法の廃止が決まり、新しい制度づくりという変革の時期である。個々の見解が具体化される時でもあり、多いに夢ではなく現実的課題として学びあいたい。

#### 2. 専門演習で扱う課題と内容

障害児者の問題は、教育・医療・福祉・就労・所得とさまざまにある。とくにどの問題とは限定せず、学生の関心問題から出発して展開できるようにしたい。

#### 3. 授業の進め方・内容

3回生前半はそれぞれの関心領域、課題意識の交流と、それに関する講義等からグループ編成をして、文献による実態学習を中心にする。後半は、それによる現場の実地学習とし、とりあえず「まとめ」を行う。4回生は、それらに、先行研究論文の学習を加えて卒業研究にしていく。なお卒業研究は、個人あるいはグループとする。

#### 4. 必要とする知識

障害者自立支援法を中心とした現在の障害者施策の動向とそれに関わる障害児者の悩みや要求。

#### 5. 関連する分野・科目・知識

障害者福祉論

#### 6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

峰島「障害者自立支援法と実践の創造」全障研出版部

#### 7. 独自に付加する選考方法

特になし。

#### 8. 受講生に望むこと

おおいに議論してください。